



講演 白井 聡さん(政治学・社会思想学者)

憲法違反であるとの多くの声を無視し、集団的自衛権の行使を容認する安保関連法が成立し、施行されてしまいました。なぜ、このような暴挙がまかり通るのか。

『永続敗戦論—戦後日本の核心』の著者、白井聡さんは、日本が戦後、敗戦を否認し、ひたすら対米追従を深めてきたことを「永続敗戦」と呼び、「永続敗戦」こそが、今日の日本の矛盾や歪みの原因であると指摘します。

私たちは今、何を直視すべきなのか。どうすれば、この混迷から抜け出せるのか。白井聡さんの講演を通じて考えたいと思います。

講師 プロフィール

早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。一橋大学大学院社会学研究科総合科学専攻博士課程単位修得退学。博士(社会学)。京都精華大学専任講師。主にロシア革命の指導者であるレーニンの政治思想をテーマとした研究を手掛けてきたが、3.11を基点に日本現代史を論じた『永続敗戦論—戦後日本の核心』を著し、第35回石橋湛山賞・第12回角川財団学芸賞・第4回いける本大賞を受賞。著書に「未完のレーニン」(講談社、2007年)、『物質』の蜂起を目指して(作品社、2010年)、『戦後』の墓碑銘(金曜日、2015年)。

会場 開港記念会館 講堂

定員 481名

JR京浜東北線・根岸線「関内駅」

南口から徒歩10分

市営地下鉄線「関内駅」

1番出口から徒歩10分

みなとみらい線「日本大通り駅」

1番出口から徒歩1分



6月24日(金)

開場 / 18時

開演 / 18時30分

終了予定 / 20時30分

予約不要・入場無料

戦後日本と「平和憲法」を考える ——「永続敗戦」を終わらせるために——



共催(予定) 日本弁護士連合会・関東弁護士会連合会
お問い合わせ 神奈川県弁護士会 業務課 (平日9:00~17:00)
045-211-7705